

令和7年度 事業報告

令和7年度における当連盟の活動は、次のとおりでしたので報告いたします。

1 会議の開催

- ・常任総務会：5回（1/15、4/30、8/6、9/17、12/17）
- ・総務会：3回（2/12、6/11、10/8）
- ・評議員会：2回（3/12、11/12）
- ・監査会：1回（1/24）
- ・支部長・地域連盟会長会議：1回（4/9）
- ・参議院選挙対策会議：1回（5/21）
- ・参議院選挙報告会：1回（8/27）

2 会員増強運動

支部・地域連盟の会費請求時や地域薬剤師会の入会時に行って頂いた。
直接請求の支部の県薬会員へ納付書を送付し、38名の入会を得た。
支部、地域連盟に属さない県薬会員へ納付書を送付し、41名の入会を得た。

3 本田あきこ第27回参議院議員選挙

令和7年7月20日投票の第27回参議院議員選挙において、全国152,518票、神奈川県では7,175票を獲得し、2期目の当選を果たし、組織内議員2名を堅持できた。現職であったため本人による薬局訪問は行えなかったが、日薬連役員、県薬連役員による薬局訪問を行った。横浜市・川崎市・藤沢市・小田原市・平塚市・横須賀市・三浦市・座間市の合計601軒。県内すべての卸の支店・事業所を訪問し支援依頼を行った。自民党議員のパーティー・支部大会に代理出席し、本田候補のアピールを行った。5/21励ます会には126名の薬剤師が集結し選挙に向けて士気を高めた。7/15午後、本田あきこ候補本人が街宣車に同乗し、横浜市内を遊説した。同日夜の決起集会では、三原じゅん子参議院議員、わき雅昭候補より応援演説を頂き、125名参集の下、Xによる同時配信も行い、本人の熱い決意とともに当選に向けて戦い抜くことを皆で誓った。今回の選挙では、LINEオープンチャット、Facebook、X、Instagramを駆使しSNSの活動を行った。

〔支援者名簿9,904名、電話作戦2,240件、選挙ハガキ6,468枚、政党ポスター4,600枚〕
選挙ポスター2,500枚配布、会議・研修会への本人出席1回、メッセージ13回

4 機関紙の発行その他事業

(1) 連盟だよりの発行

神奈川県薬剤師会「薬壺」に連盟だよりを掲載した。

毎号本田顕子・神谷政幸参議院議員の国会報告を掲載した。

本連盟の掲載記事

- 1・2月号 新年会長挨拶
- 3・4月号 かながわ薬剤師フォーラム2024に参加して
- 5・6月号 日薬連役員との重点地区訪問、支援のお願い
- 7・8月号 薬局訪問活動、投票行動に関するお願いビラ封入
- 9・10月号 本田あきこ選挙当選の報告
- 11・12月号 政党要望

(2) 広報活動

LINE オープンチャット・Facebook・X・Instagram を活用し、本田あきこ・神谷政幸参議院議員の活動を発信した。

ホームページには本連盟の活動を掲載し、本田あきこの挨拶動画の掲載、本田あきこのページを設け薬連タイムズ・国会質問の動画等を閲覧可能とした。

5 地域連盟・支部への支援

地域連盟及び集金形態の支部に対し納入額の 12%1,523,600 円、参議院選挙活動助成金については、申請があった地域連盟及び支部に対し 471,000 円を交付した。

6 自民党・公明党県連予算要望

令和 8 年度国・県への予算要望ヒアリング（自民党 6/12、公明党 8/8）を行い、ホームページにも掲載した。

国への要望

① 認定薬局制度の普及に向けた周知および支援の強化について
神奈川県への要望

- ① オンライン資格確認促進について
- ② 地域医薬品提供体制に関する協力について
- ③ 県内の医薬品流通に関する支援について
- ④ 電子処方箋応需に関する実務的支援について
- ⑤ 多重受診防止における薬剤師会の取組と支援の必要性について
- ⑥ 健康増進業務への支援について
- ⑦ 薬局が少ない地域の支援について

7 議員、首長への支援

黒岩祐治神奈川県知事：後援会 5 名登録。

8 日本薬剤師連盟の会議等への参加

会長・幹事長会議、評議員会、東京・関東ブロック協議会、全国薬剤師フォーラム、JPL フォーラム、SNS 実務担当者会議、JPL 東京・関東ブロック web 会議、事務担当者会議